

2020年6月16日  
日興アセットマネジメント株式会社

## オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型） 愛称：ピンクダイヤモンド 2020年6月決算と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型）愛称：ピンクダイヤモンド」は、2020年6月15日に決算を迎え、当期の分配金額を60円（税引前、1万口当たり）に引き下げましたことをご報告申し上げます。

今回の決算において当ファンドは、市況動向や、基準価額に対する分配金額の水準などの状況を総合的に勘案し、分配金額を減らすことで運用を行なう資産を増やし、将来の運用成果の向上をめざすことと致しました。

次ページ以降では、分配金額を変更した背景や、今後の投資環境の見通しなどについてご説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、「オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型）愛称：ピンクダイヤモンド」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 分配金額と基準価額

|                                  |                 |        |
|----------------------------------|-----------------|--------|
| 分配金額<br>(税引前、1万口当たり)             | 当期<br>(2020年6月) | 60円    |
|                                  | 前期<br>(2020年5月) | 100円   |
| 2020年6月15日現在の基準価額<br>(税引前分配金控除後) |                 | 4,787円 |

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する  
場合や、分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型）愛称：ピンクダイヤモンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。 1/10

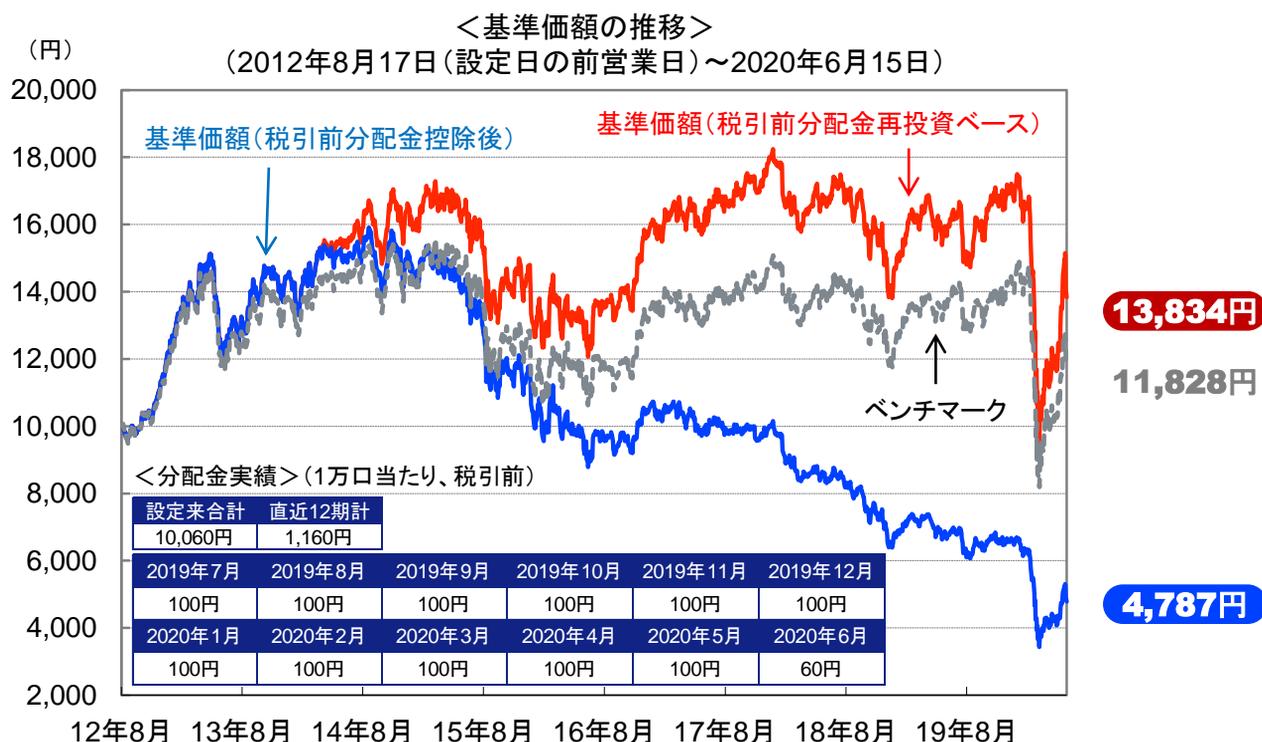
# Q1. なぜ分配金額を変更したのですか？

今後も、安定的な分配金のお支払いの継続をめざすためです。

2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染が世界各地へ拡大したこと(コロナショック)などを受け、世界的に株式市場が急落する中、豪州株式も下落しました。3月下旬以降、経済支援策が発表されたことや、一部主要国での経済活動再開、ワクチン・治療薬の開発に向けた動きが好感されたことなどから、豪州株式は回復傾向にあるものの、新型ウイルス感染拡大第2波への警戒感などから、コロナショック以前の水準を回復するには至っていません。

こうした中、当ファンドにおいては基準価額に対する分配金額の水準が高まったことなどから、今後も安定的な分配金のお支払いを継続することをめざし、今回の決算において分配金額を引き下げることに致しました。

なお、**引き下げられた分配金の差額は信託財産に留保される**こととなりますので、今後、基準価額が上昇すると見込まれる局面では、基準価額の上昇幅が大きくなると考えられます。



※ 基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ ベンチマークは、S&P/ASX 200指数(円換算ベース)です。公表指数をもとに日興アセットマネジメントが円換算しています。

※ 当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

※ S&P/ASX 200指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&PDJIIに帰属します。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)愛称:ピンクダイヤモンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。 2/10

## Q2. 足元の投資環境について教えてください。

### 2020年3月下旬以降、豪州株式には回復の兆しも

- 2020年2月以降、コロナショックの影響により、世界的に株式市場が急落する中、豪州株式も下落しました。
- 3月下旬以降は、素早い都市封鎖や経済対策の実施に加え、一部主要国での経済活動再開やワクチン・治療薬の開発に向けた動きなどが好感され、豪州株式には回復の兆しがみられます。

### 低水準の新規感染者数により、経済活動再開へ向け前進

- 豪州では、入国制限や都市封鎖などの厳しい規制などが奏功し、4月下旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者数は低水準での推移となっています。
- こうしたことから、豪州政府は5月8日、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限措置を7月までに段階的に緩和していく計画を発表、経済活動の早期再開に向けた動きがみられています。

### 豪中関係の悪化が重石に

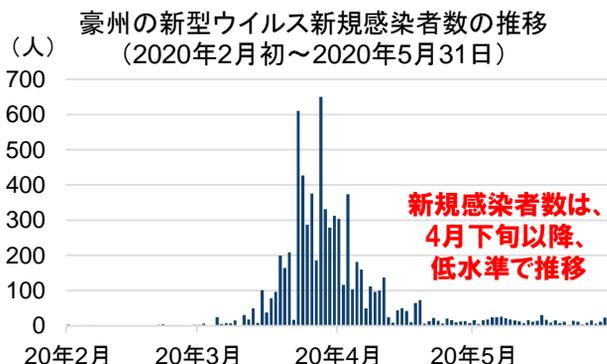
- このように豪州株式には回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大第2波への警戒感に加え、新型コロナウイルスの発生源の調査を呼び掛けた豪州に対し、中国が豪州産食肉の一部輸入停止や大麦への追加関税を発表するなど、豪中関係の悪化などが重石となり、上値の重い状況となっています。



※豪州株式: S&P ASX200指数(豪ドルベース)

### 豪州株式と豪ドル(対円)の期間別騰落率

| 豪州株式 | 豪ドル(対円) | 2020年2月20日～3月23日 | 2020年3月23日～5月29日 |
|------|---------|------------------|------------------|
| 豪州株式 | 豪ドル(対円) | 26.6%            | 10.7%            |
|      |         | -36.5%           | -12.4%           |



出所: WHO(世界保健機関)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型) 愛称:ピンクダイヤモンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。 3/10

# 続き

## Q2. 足元の投資環境について教えてください。

### 大規模森林火災や新型コロナウイルスに伴う行動制限が豪州経済を下押し

- 6月に発表された2020年1-3月期のGDP成長率は、前期比-0.3%(前年比+1.4%)と、9年ぶりのマイナス成長となりました。2019年末以降深刻化した大規模な森林火災や、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限などを背景とした個人消費の減少などがGDPの主な押し下げ要因となりました。ただし、主要国と比較すると、軽微な落ち込みにとどまっています。(グラフ①、②)
- オーストラリア準備銀行(中央銀行)は6月2日、新型コロナウイルスの感染拡大による豪州経済の減速や目標を下回る物価上昇率などを背景に政策金利を史上最低の0.25%に据え置くことを発表しました。また、当面の間、こうした緩和的な金融政策を維持する方針を示しました。(グラフ③)
- 豪州の主要な輸出品である鉱物・エネルギー資源の価格を見ると、コロナショック以降、天然ガスは概ね横ばいで推移しているものの、経済活動が再開している中国への輸出が期待される鉄鉱石や有事に需要が高まる傾向にある金は、上昇傾向にあります。(グラフ④)

①実質GDP成長率(前期比)の推移  
(2017年1-3月期~2020年1-3月期)



②主要国の実質GDP成長率(前期比)  
(2020年1-3月期)



③豪州の政策金利と消費者物価上昇率の推移  
(2010年3月~2020年6月\*)



④資源価格の推移  
(2019年初~2020年5月末)



オーストラリア統計局および信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成  
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## Q3. 今後の見通しについて教えてください。

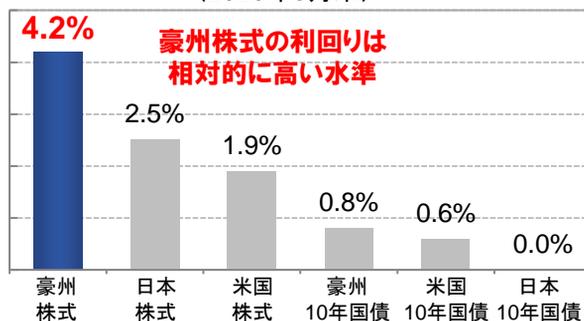
### 経済活動正常化とともに、株価の一段の回復が期待される

- 2020年4-6月期の豪GDPも、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国・行動制限の影響から、マイナス成長が予想されています。しかし、7月以降、経済活動の正常化が予定されていることなどから、7-9月期以降の回復が期待されます。
- 豪州では、5月8日に発表された経済再開に向けた工程表に沿って、5月中旬以降、徐々に行動制限が緩和され始めています。こうした中でも、足元の新規感染者数は低い水準で推移しており、経済活動の正常化とともに、株価の回復も期待されます。
- 鉄鉱石や金などの需要の高まりによる輸出の増加などが、豪州経済を下支えすると期待されます。ただし、豪中関係の悪化については、輸出における対中依存度の高さから、豪州経済を下押しする可能性には注意が必要です。
- 豪ドル(対円)は、経済的に関係の深い中国で、経済再開に向けた動きがみられたことが好感されたほか、鉄鉱石や金などの需要の増加などを追い風に、2020年3月中旬以降、回復(豪ドル高)傾向にあります。

### 株価バリュエーションの歪みが、今後の収益獲得の機会に

- 株価バリュエーションは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けにくいと思われるセクター・銘柄への逃避により二極化され、持続的な株価バリュエーションの評価を困難にしています。しかし、**パニック的な売却が続いたことにより、様々なセクターや銘柄において選別投資の機会が訪れています。**
- ディフェンシブ性のあるセクターや優良株は大きく上昇していることから、今後調整の場面もあると考えられます。一方、**株価バリュエーションが相対的に割安な水準にあるセクターや銘柄においては、市場の落ち着きとともに、当ファンドにとって大きな収益獲得の機会につながる可能性がある**とみています。
- また、**豪州株式の魅力の一つである配当利回りは、相対的に高い水準を維持**しており、引き続き、投資家にとって魅力的な投資先のひとつとして選好されると考えられます。
- 株式市場は歴史的に、不透明感が排除されることで大幅かつ急速な回復を遂げてきました。今回も新規感染者の減少や経済活動再開が、今回の危機から市場が回復するきっかけになると期待されます。**今後も徹底したボトムアップリサーチに基づき、豪州株式市場において高い成長が期待される銘柄に選別投資することで、良好なパフォーマンスの獲得をめざしていきます。**

日米豪の主要資産の利回り水準比較  
(2020年5月末)



豪州株式: S&P/ASX 200指数、米国株式: S&P500指数、  
日本株式: TOPIX(東証株価指数)の実績配当利回り  
※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

※上記は、当ファンドのマザーファンドを運用する日興AMリミテッドからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型) 愛称:ピンクダイヤモンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。 5/10

## Q4. 今後の分配方針について教えてください。

引き続き、毎月、安定した分配金をお支払いすることをめざす方針に変更はありません。

分配金額に関しては、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

## Q5. 分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がいいですか？

分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者(投資者)の皆様へ、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

ファンドで得られた収益などをどのように配分する(分配金として支払う／内部留保として投資に振り向ける)かは、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、**当該ファンドご購入後の基準価額の変動額と受取分配金を合わせた総合的な投資収支(＝トータルリターン)をもって行なうことが、重要である**と考えます。

## Q6. 引き下げられた分の分配金はどうなるのですか？

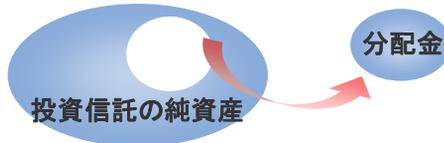
ファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。

分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。そのため、投資資産の値上がりなどにより基準価額が上昇すると見込まれる局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払って基準価額が低くなった場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなると考えられます。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

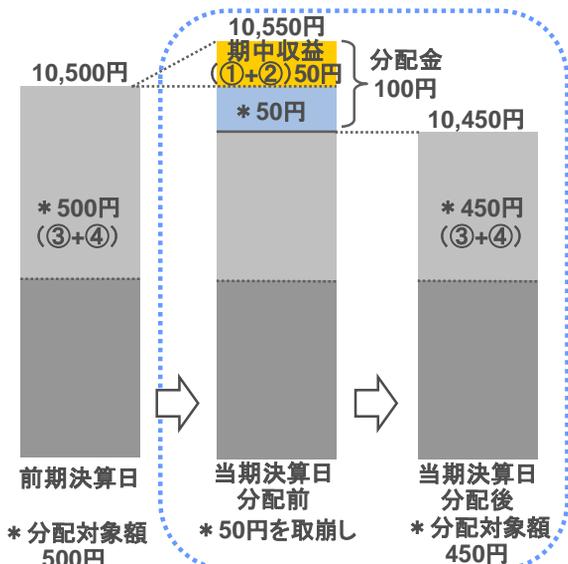
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



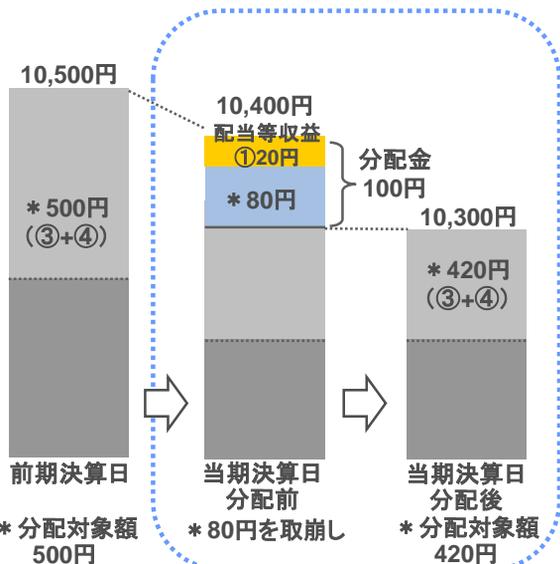
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

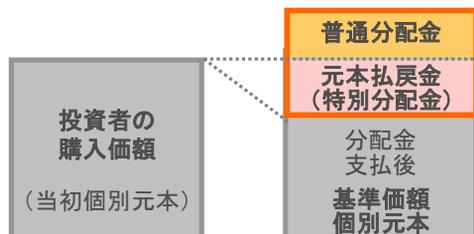


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

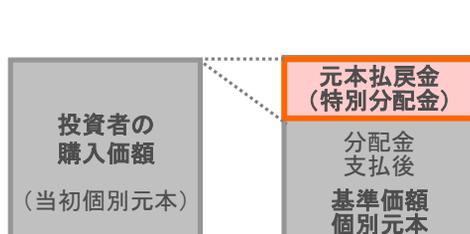
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

#### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様にご帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ファンドの特色

1. オーストラリアの株式を主な投資対象とします。
2. 実質的な運用は、日興AMリミテッドが行ないます。
3. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みメモ

|                |  |
|----------------|--|
| 商品分類           | 追加型投信／海外／株式  |
| 購入単位           | 販売会社が定める単位<br>※販売会社の照会先にお問い合わせください。  |
| 購入価額           | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 信託期間           | 2022年8月15日まで(2012年8月20日設定)   |
| 決算日            | 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)   |
| 購入・換金<br>申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>・購入・換金申込日が、オーストラリア証券取引所の休業日<br>・購入・換金申込日の翌営業日が、オーストラリア証券取引所の休業日またはシドニーの銀行休業日 |
| 換金代金           | 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。   |

## 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

|         |   |
|---------|---|
| 購入時手数料  | 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内<br>※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料   | ありません。  |
| 信託財産留保額 | ありません。  |

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

|                  |   |
|------------------|---|
| 運用管理費用<br>(信託報酬) | 純資産総額に対し年率1.804%(税抜1.64%)程度が実質的な信託報酬となります。<br>信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.078%(税抜0.98%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.726%(税抜0.66%)程度となります。<br>受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。                     |
| その他の費用・<br>手数料   | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。<br>組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。<br>※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 |

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)愛称:ピンクダイヤモンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。 9/10

## 委託会社、その他関係法人

|      |   |
|------|---|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号<br>加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会   |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社  |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。<br>日興アセットマネジメント株式会社<br>〔ホームページ〕 <a href="http://www.nikkoam.com/">www.nikkoam.com/</a><br>〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号                     | 加入協会    |                 |                 |                    |
|--------------|--------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
|              |                          | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| エイチ・エス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号  | ○       |                 |                 |                    |
| 株式会社SBI証券    | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号  | ○       |                 | ○               | ○                  |
| 岡地証券株式会社     | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第5号   | ○       | ○               |                 |                    |
| 株式会社滋賀銀行     | 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号    | ○       |                 | ○               |                    |
| 松井証券株式会社     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号 | ○       |                 | ○               |                    |
| 楽天証券株式会社     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | ○       | ○               | ○               | ○                  |

(50音順、資料作成日現在)